

## プレスリリース

バムルンロード病院は、チュラーロンコーン大学医学部神経消化器病・消化管運動機能科との共同プロジェクトで、あらゆる種類の消化器疾患に対して正確な診断と適切な治療を提供する消化管運動機能センターを開設しました。

### バムルンロード CEO Artirat Charukitpipat

消化器系は体の中で最も重要な部分のひとつであり、生活の質に大きな影響を与える可能性があります。バムルンロードの患者さんについていけば、外国人の 50~60%、タイ人患者の 10%が胃酸逆流を経験していることがわかりました。本共同プロジェクトにより、バムルンロード消化器病センターの機能を高め、患者さんに最高の治療をご提供することを目的としています。

### バムルンロード病院消化器科センター部長 Yudhtana Sattawatthamrong 助教授

バムルンロード消化管運動機能センターは、消化器科センターをより強化し、総合的な患者さんへの治療を提供し、先進医療技術を用いた早期発見により診断能力の精度と正確さを向上させるために設立されました。

チュラーロンコーン大学医学部神経消化器病・消化管運動機能科は、機能的胃腸症や消化管運動障害の診断・治療において、タイでナンバーワンの実績を誇っています。

### チュラーロンコーン大学医学部神経消化器病・消化管運動機能科センター長

### バムルンロード病院消化管運動機能センター センター長 Sutep Gonlachanvit 教授

消化管運動機能センターは、食道、胃、小腸、大腸、直腸、肛門などの上部から下部消化管に至るまで消化管運動機能に関する問題を抱える患者のケアと治療を提供します。胃食道逆流症の患者様は、通常、胸が熱くなり、酸っぱい液体が逆流する症状を経験されます。慢性的な喉の痛みや、常に痰が絡むなどの症状を訴え、耳鼻咽喉科や感染症科に何度も足を運ぶ方もいらっしゃいます。また、慢性的な咳など、肺に問題を抱える方もいらっしゃいます。

原因不明の胸の痛み、食道や胃の噴門部の筋肉が弛緩せず飲食物が通過しなくなる症状、食べ物を飲み込みにくいなど、心臓の病気のような症状に悩まされる患者さんもいらっしゃいます。便秘、便失禁、慢性的な腹部膨満感など、排便の異常でお悩みの方もいらっしゃいます。胃カメラで発見できない異常もあります。原因が不明な胃の病気もあります。胃不全痙攣、胃過敏症による腹痛、原因不明の腹部膨満感などがある一方、過敏性腸症候群や慢性便秘を経験する患者さんもいます。

消化器疾患は非常に一般的であり、その症状は深刻で QOL に大きく影響することがあります。消化器疾患の多くは診断が困難ですが、医学研究の進歩により診断技術が格段に向上し、診断の有効性が高まっています。

そのため、専門医は、患者さんの症例を正確に把握し、効果的に解決するために、最も適切な診断技術を決定します。例えば、括約筋を検査することができます。また、唾液検査、水素呼気試験、24 時間食道 pH モニタリングも可能です。便秘や閉塞感のある患者さんには、理学療法で排泄や排便を正常に戻すお手伝いをします。薬物療法が有効でない便秘・便秘症例の約 40%は、消化器官運動筋力の調整・機能不足が原因です。私たち医師や看護師は、関連する筋肉を再度トレーニングすることで、患者さんに適切な調整能力と機能を取り戻す治療をご提供しています。

詳しくは、バムルンラード病院 B 棟 2 階バムルンラード病院消化管運動機能センター、  
または電話 063-1903152、1378 までお問い合わせください。